

有圧換気扇システム部材

固定式ガラリ

据付工事・取扱説明書



形名	適応機種
PS-25SK ₃	羽根径25cmの有圧換気扇
PS-30SK ₃	羽根径30cmの有圧換気扇
PS-35SK ₃	羽根径35cmの有圧換気扇
PS-40SK ₃	羽根径40cmの有圧換気扇
PS-50SK ₃	羽根径45・50cmの有圧換気扇
PS-60SK ₃	羽根径60cmの有圧換気扇

(工事店様へ)

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

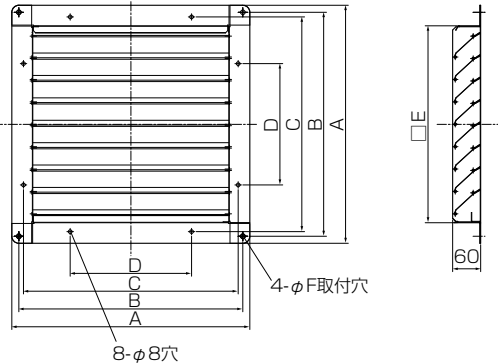
据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

(お客様へ)

ご使用前の前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

外形寸法図

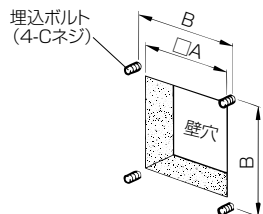


形名	A	B	C	D	E	F	単位 (mm)	ブレード枚数	質量 (kg)
PS-25SK ₃	360	330	314	160	273	10		5	1.7
PS-30SK ₃	410	380	364	200	323	10		6	2.0
PS-35SK ₃	458	434	434	250	371	12		7	2.6
PS-40SK ₃	510	460	460	260	423	14		8	3.0
PS-50SK ₃	610	560	560	280	524	14		10	4.5
PS-60SK ₃	700	650	650	380	614	14		11	5.5

据付方法

壁穴および埋込ボルト寸法

下図を参照して壁穴をあけ、埋込ボルトを埋め込む。



形名	A	B	C	単位 (mm)
PS-25SK ₃	275	330	M8	
PS-30SK ₃	325	380	M8	
PS-35SK ₃	380	434	M8	
PS-40SK ₃	430	460	M12	
PS-50SK ₃	530	560	M12	
PS-60SK ₃	620	650	M12	

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

● 図記号の意味は次のとおりです

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		分解禁止
	注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの		指示に従い必ず行う

警告

取付時		● 有圧換気扇と共締めするときはメタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける漏電した場合発火の原因。
取付時		● 分解・改造はしない けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください
取付時		● 取付けやお手入れの際は必ず分電盤のブレーカを切る感電やけがの原因。

注意

取付時		● 据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う落下によりけがの原因。
-----	--	---------------------------------------

据付け前のお願い

● 氷結するおそれのある場所やほこりの多い場所には据付けしないでください。故障の原因。
※ 強酸・強アルカリ性の腐食性ガスが発生する場所への設置は寿命が短くなる場合があります。

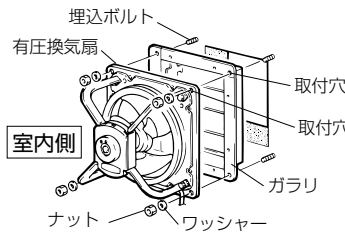


● ゆがんだ面に据付けしないでください。

● 直接雨水が当たる場所では、必ずウェザーカバーをご使用ください。
● 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、ダンパーが動作したときシャッターブレードに当たらないように、ガラリを室内側から据付けてください。壁厚は60mm以上確保してください。

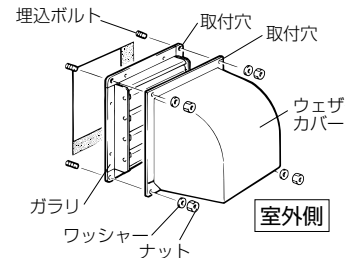
据付方法 つづき

有圧換気扇と共締めで据付ける場合



1. ガラリの取付穴を埋込ボルトに差し込む。
2. 有圧換気扇の取付穴を埋込ボルトに差し込み、市販のワッシャー・ナット（各4個）で確実に締め付ける。

ウェザーカバーと共締めで据付ける場合



1. ガラリの取付穴を埋込ボルトに差し込む。
2. ウェザーカバーの取付穴を埋込ボルトに差し込み、市販のワッシャー・ナット（各個）で確実に締め付ける。
3. 製品と壁面のすき間は雨水浸入防止のため、市販のコーキング材で埋める。

お願い

● 据付け後振動や異常音がないか試運転をしてください。

お手入れのしかた

約3か月に一度を目安に中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い

● お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。
（さびの発生の原因になります）
シンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ洗剤など